

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-09 □支援部門		伝統鎌倉彫振興事業						
主管課	観光商工課(産業振興課)	関連課							
分野名	産業振興								
目標 (目標値)	伝統的工芸品である鎌倉彫産業の振興を図る。								
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考				
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	1,726	1,688	1,678					
	(国・県)								
	(負担金等)	681	790	780					
	(一般財源)	1,045	898	898					
	人員配置数	0.1	0.1	0.1					
	人件費(千円)	892	916	919					
	協働のパートナー								
事務事業運営経費	総事業費(千円)	2,618	2,604	2,597					
	市民1人当りの経費(円)	15	15	15					
	対象者1人当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒								
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
鎌倉彫生産額	△	目標値	970,000千円	970,000千円	970,000千円	970,000千円			
		実績値	950,000千円	950,000千円	920,000千円				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進									

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
伝統鎌倉彫振興事業	1,726千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	鎌倉彫振興事業所の維持管理を行う。伝統鎌倉彫事業協同組合が行う事業に要する経費の一部を助成する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	将来に向けた市場を開拓する。
課題解決のための取組	鎌倉彫の伝統と品格を守りつつ、売上を確保するための検討を行う。
未解決の課題	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		↓	伝統鎌倉彫事業協同組合と連携して、伝統工芸品としての技術の伝承及び地場産業振興を図るための支援を行う。	課長等名
③有効性 ○		B				課長(代理)
④公平性 ○						竹沢 至

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
伝統鎌倉彫振興事業	主な個別事業	383 鎌倉彫振興事業所光熱水費	459	386	■適切 □見直し余地あり
		383 鎌倉彫振興事業所維持修繕料	200	77	■適切 □見直し余地あり
		383 鎌倉彫振興事業所警備委託料	124	123	■適切 □見直し余地あり
		383 伝統鎌倉彫振興事業補助金	903	903	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり